

## 公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがお帝塚山店		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援の報告書を作成し、保護者及び訪問先の先生と共有しています。その際に専門的な見地から園で行える対応方法や支援の方向性などを記載させていただいています。	報告書作成の際は、専門用語を極力減らし保護者様にも園の先生方にも伝わりやすい内容になるよう作成しています。また報告書に園の先生方からの相談や疑問点を書いていただくことで、支援方法や対応方法の助言をさせていただき利用者様の環境整備に努められています。	より専門性を高めるために職員の研修などを行い、より良い支援ができるよう計画しています。
2	訪問時に担任の先生から対応や支援について相談があった時に、園での対応方法などの案をお伝えさせていただき、無理のない範囲で環境の整備を一緒に考えています。	その場で相談いただくことに対して案や環境整備をさせていただくことで早期対応が可能となっています。	園の方針や園生活の環境を大きく変えることなく環境整備ができるよう、まずは担任の先生との連携を図り利用者の困り感や課題に対してアプローチができるよう努めてまいります。
3	園での困り感や活動の様子を事業所の指導員に共有し、支援計画に反映させたり当日の様子について	園での活動を観察し困っている部分や介助が必要な場面においての情報を事業所の指導員と共有し、本来のプログラムに加え、負荷を調整しつつ園での困り感に対してアプローチができるようカスタマイズを行っております。	より専門性を高めるために職員の研修などを行い、より良い支援ができるよう計画しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			